

体育・保健体育の 指導と評価の改善・充実について

1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について

- 余白を創出し教師の一層の創意工夫を促す学習内容の検討等について
- デジタル学習基盤の更なる活用について
- 調整授業時数制度等を踏まえた指導の工夫等について

2. 次期学習指導要領を活用した指導と評価のイメージ

- 「高次の資質・能力」等を活かした指導と評価の改善・単元計画づくり

1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について

1. 指導と評価の改善・充実に関する各要素について

指導と評価の改善・充実に関して、「論点整理（令和7年9月）」で示された、①深い学びの実装、②多様性の包摂、③実現可能性の確保の観点を踏まえつつ、以下の各要素から更に検討してはどうか。

（1）余白を創出し教師の一層の創意工夫を促す学習内容の検討等について

補足説明資料（P.4）

- ・ 総則・評価特別部会においては、各教科等WGにおいて個別の資質・能力の検討を行う際の方向性として、以下が示されている。

各教科等WGにおいて、整理した「高次の資質・能力」に基づき、より豊かな学習活動に繋がり、かつ、系統性等を損なわない範囲で、精選が可能な対象を慎重に特定しつつ、個別の資質・能力の整理を検討する。その際、表形式での示し方、「高次の資質・能力」の獲得に向けて「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るための余白が十分にあるかといった視点からも検討する。

- ・ また、「論点整理（令和7年9月）」において、今般の構造化の趣旨を踏まえて、教科書の内容について「統合的な理解」「総合的な発揮」をつかみ取りやすくなるものに精選していくことが必要であるとされた一方で、教科書会社からは、そうした「高次の資質・能力」をつかみ取りやすい教科書が具体的にどのようなものかイメージが湧きにくいという声もあり、総則・評価特別部会において、以下の方向性が示されている。

各教科等WGにおいて、高次の資質・能力をつかみやすい当該教科等の教科書の在り方について、内容の精選の在り方も含めて検討を行う。

- ⇒ こうしたことを踏まえ、期待される資質・能力の着実な育成を行いつつ、教育課程の実施に伴う過度な負担を生じにくくし、教師と子供の双方の余白を創出し、そうした余白を前提とした教師の創意工夫を一層促すことが期待される学習内容や教科書等について、体育・保健体育の教科の性質やこれまでの議論等を踏まえつつ、ワーキンググループとして考え方等を整理・検討することとしてはどうか。

（2）デジタル学習基盤の更なる活用について

補足説明資料（P.5～7）

- ⇒ 体育・保健体育の学習の一層の充実を実現する観点から、デジタル学習基盤を含めたツールの活用について検討を深めてはどうか。

（3）調整授業時数制度等を活用した学習指導の工夫等について

補足説明資料（P.8～10）

- ⇒ 「論点整理」で示された、標準授業時数の弾力化を可能とする「調整授業時数制度」等を活用した学習指導の工夫等について検討を深めることで、体育・保健体育における一層の深い学びの実現や多様な子供たちを包摂できる教育課程の実現が期待できないか。

（4）活動場所や指導体制等の環境整備について

- ⇒ 第8回（3月27日）ワーキンググループにおいて議論

1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について

= (1) 余白を創出し教師の一層の創意工夫を促す学習内容の検討等について =

1. 多様性の包摂や一層の深い学びの実現に資するための余白を創出する学習内容の検討等について

- 現行の学習指導要領において、学習内容として「○○（運動）では、XXをする」というように、具体的な運動等を限定的に示しているとも読み取れる部分がある。「○○（運動）」は、それぞれの運動領域において、ねらいとする資質・能力を育むための媒介として示されているものであるが、実際の指導において「○○（運動）をする」ということが意識されがちとなり、教師・子供双方の負担となったり、活動を通してどのような学習を実現しようとしているのかといった視点が持ちづらくなったりし、児童生徒の内発的動機付けに基づく豊かな活動機会を確保したり、多様性を包摂する授業を実施したりすることに難しさが生じている面があるのではないか。
- 体育における運動・スポーツを通じた学習は、特定の種目等に係る力（競技力等）を育てることを目的としているのではなく、児童生徒が運動等に取り組む中で試行錯誤したり目標を達成したりしながら、発達の段階に応じた「動き」「運動の行い方」「運動との関わり方」等を学ぶとともに、運動・スポーツの楽しさや喜びを味わったりすることがその趣旨と考えられる。こうした趣旨をより明確化し、どのような資質・能力を育てることを狙っているのかを的確にとらえたうえで、余白を創出しつつ全ての子供たちの深い学びにつながる指導と評価を一層充実させていくために、学習指導要領においては、例えば、神経系が完成に近づく時期である小1～4（運動の基礎を培う時期）においては、「高次の資質・能力」を踏まえ、どのような「動き」を意図しているのか等を軸として、幼児教育段階との接続にも留意のうえ、身に付ける資質・能力分りやすく示す方向で検討することとしてはどうか。また、小5以降においては、多くの領域の運動を経験したりスポーツを豊かに経験する段階である趣旨を踏まえ、活動のバリエーションがかえって狭まることのないように十分に留意したうえで、運動や種目の示し方を柔軟にすることも視野に入れ、余白の創出や教師の創意工夫に最大限資する観点から慎重に検討することとしてはどうか。
- 一方で、具体的な活動等を必ずしも限定的に示さないことによって現場における指導のイメージがわきづらくなることを避けるため、どのような活動等を通して指導することが考えられるかについては、指導参考資料を活用することも視野に入れつつ、現場の創意工夫を妨げない範囲で分かりやすく示すこととしてはどうか。
(※「高次の資質・能力」については、教育課程企画特別部会で示された検討の方向性や今回の議論も踏まえ、更に検討を進める想定)

2. 計画的な学習指導の一層の実質化について

- 各運動領域の学習は、2年間のうちに計画的に学ぶことが基本（例：中学校1～2年生の「ボール運動」は、2年間のうちに、「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」について計画的に学ぶこと）となっている。子供たちの実態等を踏まえつつ、より意図的・計画的な指導計画を立てることを促すため、学習指導要領の構造化を図る中で2年間で計画的に学ぶ内容を一層分かりやすく示すとともに、国において指導計画の例等を示す際にも、指導計画づくりにおける工夫についても積極的に発信することとしてはどうか。

3. 体育と保健の一層の関連を図った指導の充実及び教科書のあり方等について

- 体育と保健の指導事項で共通性が高い部分（例：中1保健「心の健康」で、ストレスへの対処法の一つとして運動が示されている。また、中2体育理論「運動やスポーツの効果」では、ストレス解消も含めて運動・スポーツが心身等に及ぼす影響が取り扱われている）や、学習指導要領や解説で示す以上に教科書等で繰り返し丁寧に示されている部分（例：健康には、運動・食事・休養及び睡眠が関係していること）などについては、系統性の観点を踏まえ、当該段階でどのような資質・能力を育てることを目指しているかについて「高次の資質・能力」を踏まえ慎重に検討を行い、現場の指導における余白の創出や、そうした余白の活用による児童生徒の深い学びの実現に資する改善につなげることはどうか。

1. 指導と評価の改善・充実に関する各要素について = (2) デジタル学習基盤の更なる活用について =

現在の活用事例など

- 動きや技等の見本を動画等で確認する
(例) 児童生徒がいつでもどこでも見本の「動き」等を活動者の目線で確認できる動画を視聴
- ウェブ会議システムを用い、双方向性のある活動を実施
(例) 専門家や他の児童生徒集団等とオンラインで接続した授業を実施
- 動き等について画像・動画を撮影し、自身の振り返りや試行錯誤、児童生徒同士の助言や更なる学習活動等に活用
(例) マット運動で、児童が自身の動きを動画で客観視、技の完成度を高めるのに活用
(例) ボール運動（ゴール型）で、チームの動きを動画で確認、次のゲームでの戦略の検討に活用
- 児童生徒が学習の状況等を記録・共有したり、それを用いた振り返り・交流等に活用
(例) 長距離走で、トラックを周回するラップタイムを記録、データを用いてタイムを縮める方策を考え実施
(例) 保健の学習で、各自が学んだ概念を自身の生活と結び付けた例を端末で入力し、リアルタイムで学級全体で共有したうえで、更なる学習活動を展開
(例) ウェアラブル端末等から得られた運動の際の自身の状況に関するデータを分析
- 児童生徒が学習の状況等をまとめ、プレゼンテーション等を行うことに活用
(例) 保健「傷害の防止」で、地域の事故が多い箇所をクラウド上で共同でプロット、その情報を基に要因や事故を減らす方法等を整理しプレゼンテーションを実施
- VR技術・アプリ・生成AIその他デジタル技術を活用した異なる視点・経験の活用
(例) VR技術によるプレーイメージの明確化、生成AIとのやり取りによる対話型の振り返り
(例) トレーニング支援アプリにより動きの一致率等を判定、データを基にアドバイスし合う
(例) デジタル技術を活用して簡易化した競技スポーツを経験、新たな楽しみを味わう

期待される効果等

- 概念等の理解の支援、理解の深化
- 専門家等活用の可能性の拡大
- 学校内や単一学級等にとどまらない学習活動の広がりや様々な学びへのアクセスを保障
- 学習状況・思考過程・感覚等の可視化
- 児童生徒同士の対話の促進、学習活動の効率化・深化
- 児童生徒の興味・関心の増加、多様な楽しみ方の可能性の拡大
- 学習活動や指導と評価の効率化

子供たちの主体的・対話的で深い学びを支える

教師の効率的・効果的な指導や評価等を支える

留意が必要と考えられること

- 機器操作等が目的化しないことへの留意
- 児童生徒の身体活動時間の確保への留意
- 児童生徒の機器等の活用しやすさへの配慮
- 個人情報等への適切な配慮

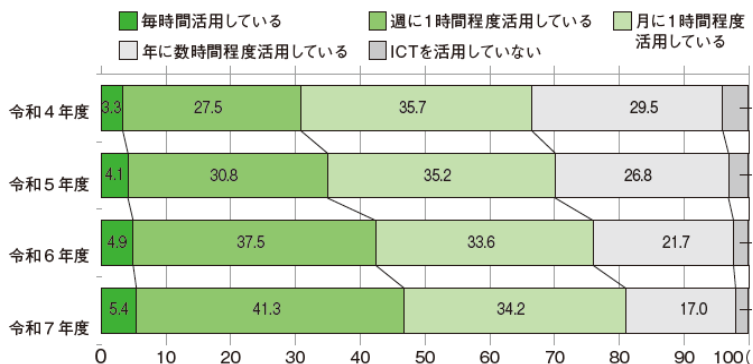
子供たちの状況等を踏まえた学習活動の確保に十分留意

学びを支える「手段」として「目的」を踏まえ効果的に活用

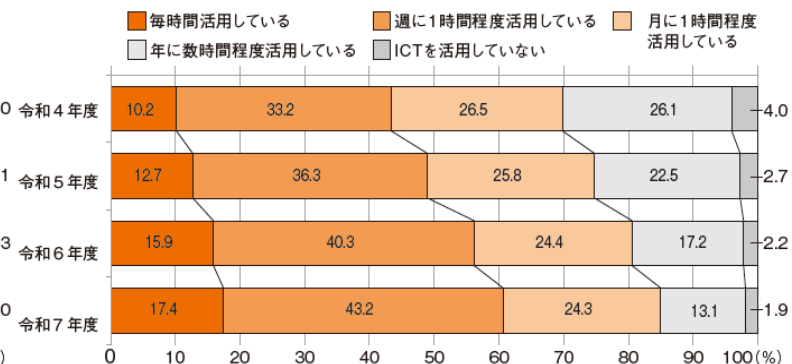
1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について = (2) デジタル学習基盤の更なる活用について = (参考データ)

体育・保健体育の授業におけるICTの活用頻度

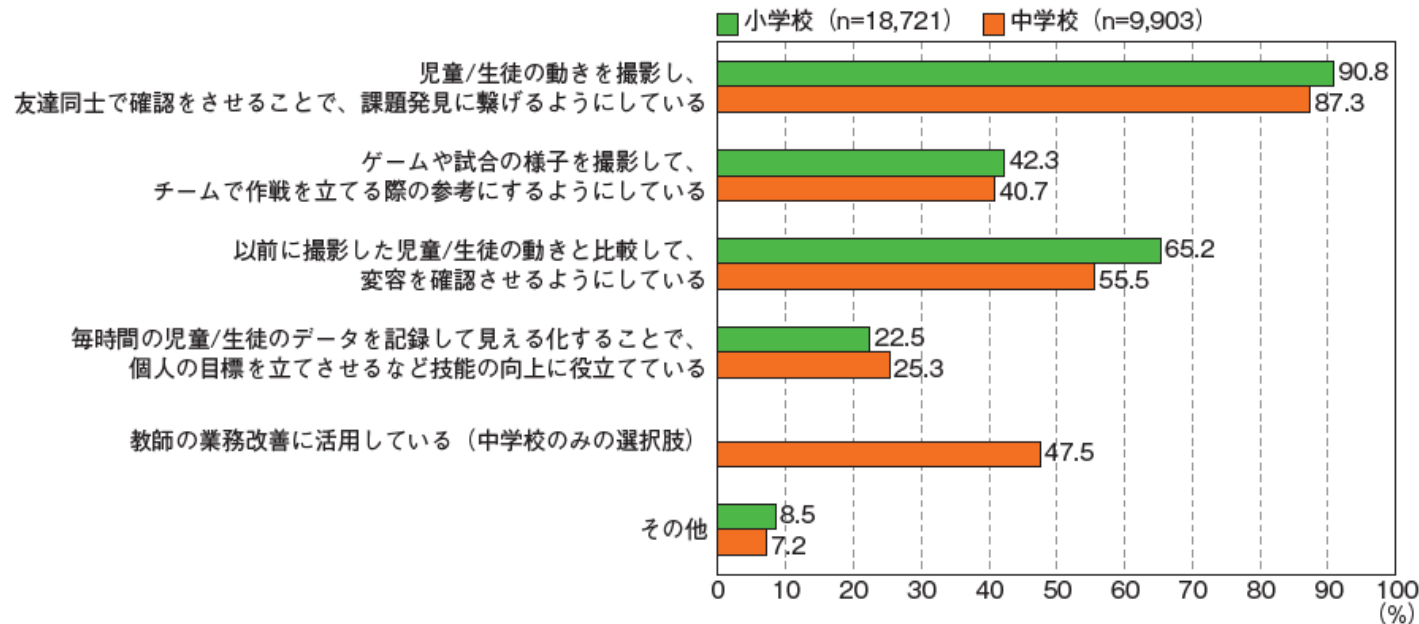
小学校



中学校



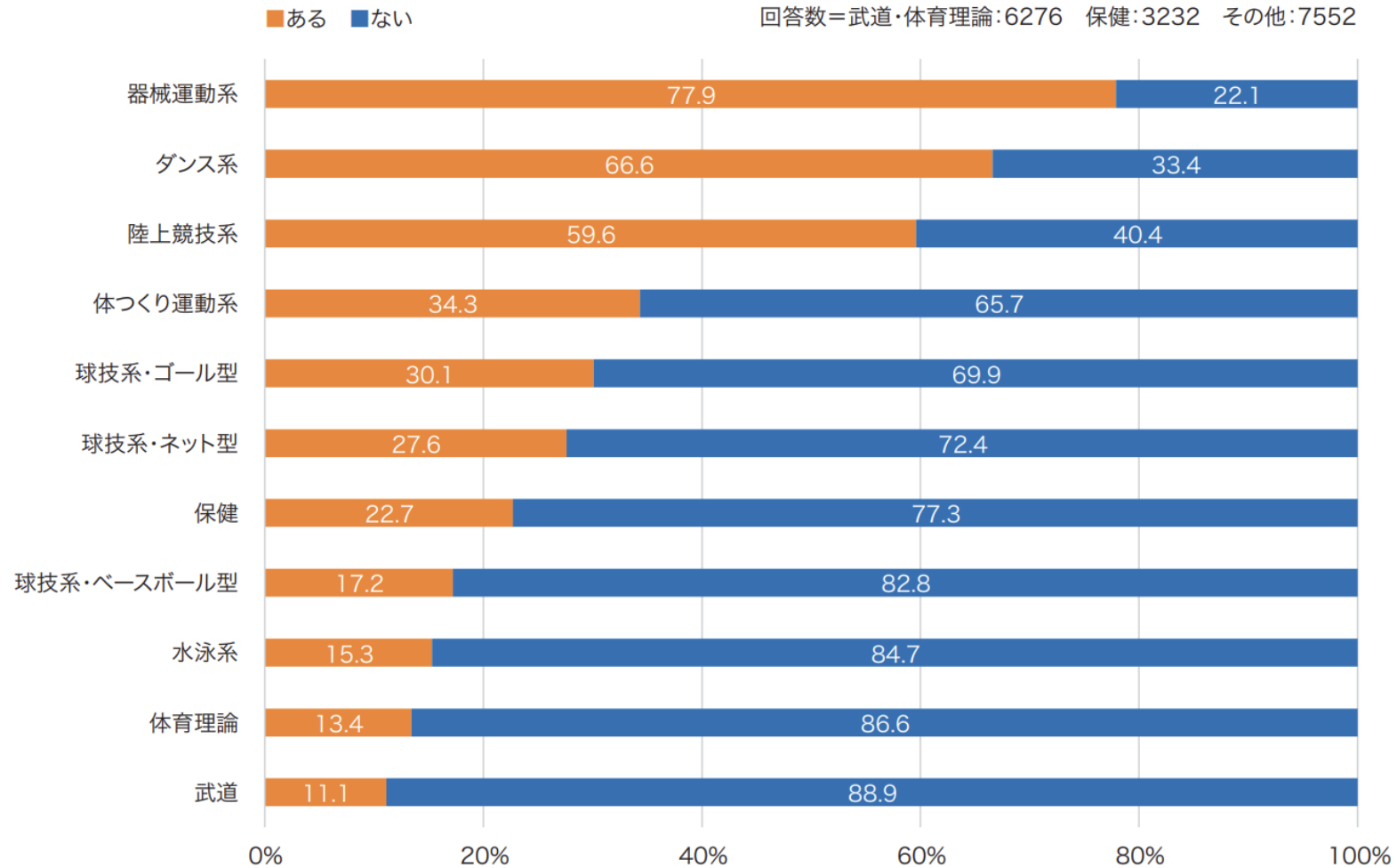
体育/保健体育の授業でICTを活用している場合、どのように活用していますか。(複数回答可)



1. 指導と評価の改善・充実に関する各要素について = (2) デジタル学習基盤の更なる活用について = (参考データ)

補足説明資料
(参考データ)

ICTを活用したことがある体育・保健体育授業の領域（複数回答可） ※回答期間：2021年10月7日～11月7日

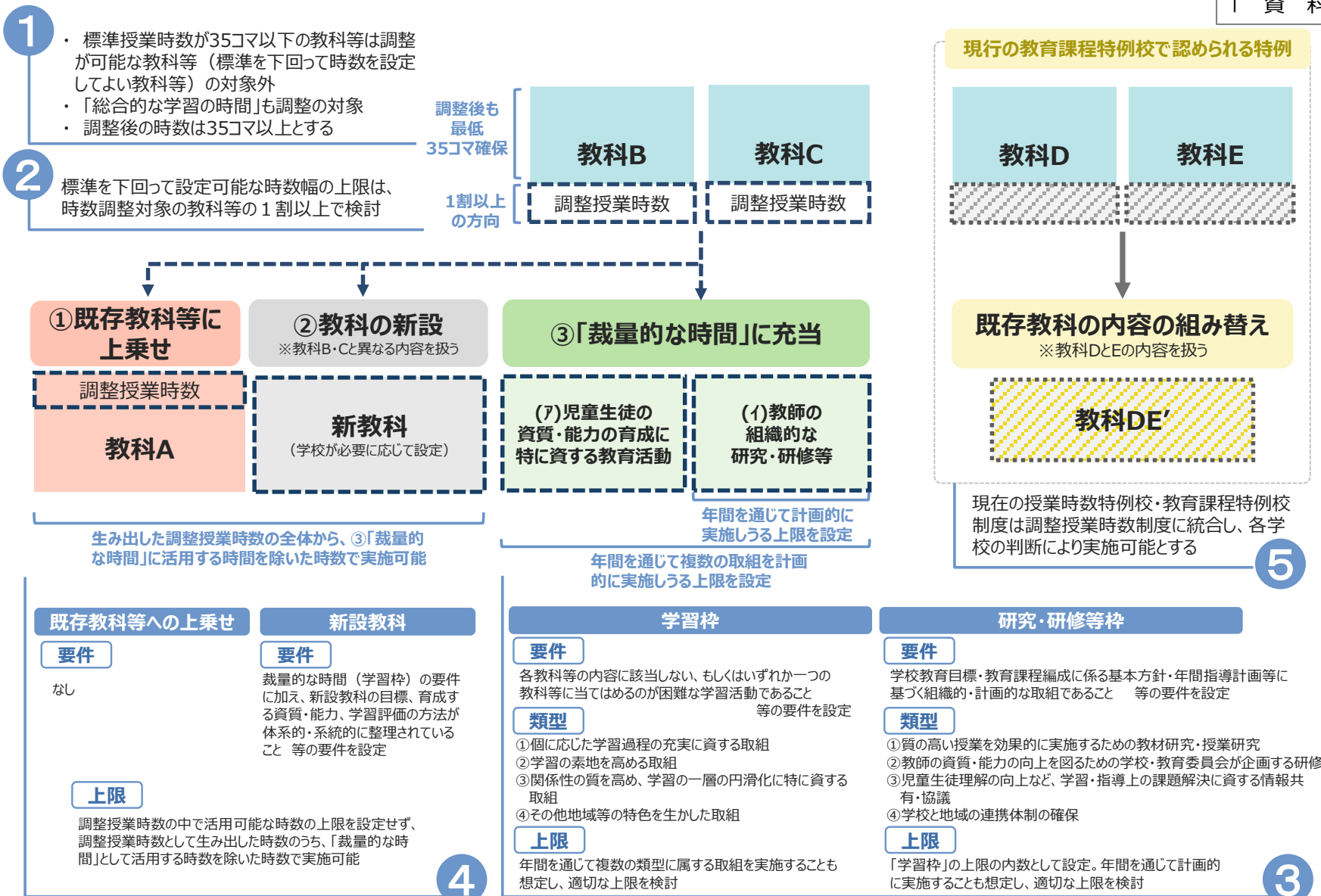


(スポーツ庁「児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集(令和4年3月)」)

令和8年1月19日
教育課程部会
総則・評価特別部会
「資料1」より

1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について = (3) 調整授業時数制度等を活用した学習指導の工夫等について =

調整授業時数制度の仕組みの方向性 (イメージ)

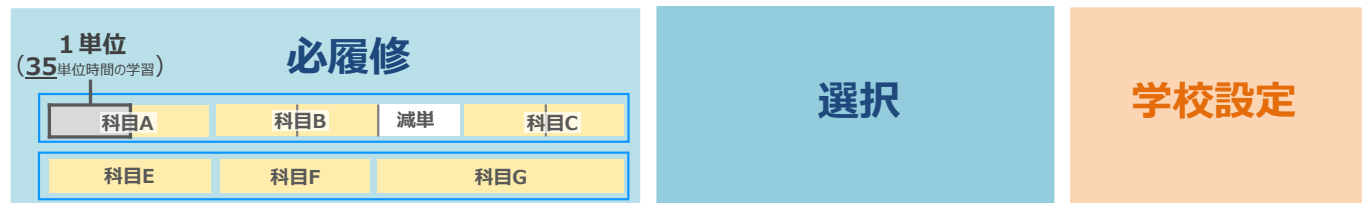


1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について = (3) 調整授業時数制度等を活用した学習指導の工夫等について =

高等学校の教育課程の柔軟化の仕組みの方向性 (イメージ)

令和8年2月19日
教育課程部会
総則・評価特別部会
「資料2」より

(週当たり授業コマ数)



2 1単位の計算
50分×17コマで1単位を標準 (新しい算定による単位を便宜的に「新単位」という)

1 柔軟な組み替えを可能に
・「各科目内容の一部または全部について他科目への移行・統合」し、科目の柔軟な組み替えを可能に
(具体例)
・理科の基礎系科目を統合
・国語科と探究を組み合わせ
・数学Iと学び直しの学校設定科目を組み合わせ 等

組み替えの要件のポイント
①元の教科・科目の目標の趣旨を損なわない
②教育課程全体として、組み替え前と同様の成果が期待される
③カリキュラム・ポリシーとの関連で、変更の趣旨・内容を公表し、生徒・保護者等に説明する

科目の内容の取扱い
・従前同様、生徒の実態を踏まえ特に必要な場合は「**基礎的・基本的な**」事項に重点を置くなど内容を選択して扱うことが可能
・その上で、「**発展的・探究的な**」事項に重点を置いた選択的な取り扱いも可能とする

5 学校設定教科・科目の単位数の上限
卒業単位に含まれる学校設定科目の単位数上限について
普通科 ⇒ 28単位
その他普通教育を主とする学科 ⇒ 36単位
に増加させることの適否を検討

週当たり授業時数
標準を示さない (現在週当たり30コマが標準)



週当たり授業時数の標準は示さない コマ

3 減単の考え方
・「一定の限度の下で減単可」という考え方が基本
・現在減単できない標準が**2単位の必修修科目**についても、**1新単位の範囲内で減単を認める**
・各必修修「教科」に係る科目の履修単位数の合計が**3新単位以下**となる減単は不可 (公共、芸術(音楽I or 美術I or 工芸I or 書道I)、情報I、家庭基礎)

4 科目の履修免除の要件のポイント
①社会的信頼性が確立した外部試験により、**免除科目の知識・技能の習得が概ね判断可能**
②振替科目等の履修により、免除科目の資質・能力を**発展的に育成可能で、総合的な代替性**がある
③**生徒の実態・希望を踏まえ、資質・能力の育成に大きく上回る成果が期待**できる

履修免除の対象科目
・**外国語・数学**を対象に**制度運用**を開始していくことを念頭に検討
・具体的な外部試験の種類や、履修免除に必要な級の水準等については、外国語WG及び算数・数学WGにおいて議論

6 必要な改善・質確保のための仕組み
これらの仕組みの**不適切な運用を防ぎ**、国・都道府県等・各学校が必要に応じて**改善を図り、質を確保**できるように**それぞれの役割を整理** (補足イメージ②参照)

1. 指導と評価の改善・充実に関係する各要素について

= (3) 調整授業時数制度等を活用した学習指導の工夫等について =

活用のイメージ・方向性等

- 運動・スポーツの多様な楽しみ方や多様性の包摂の観点を踏まえた学習を一層深められる取組 ①既存教科等に乗せ
 イメージ：【小中高】 従来からよく見聞きするスポーツ以外にも視野を広げ、年齢や障害の有無等を超えて楽しむことを重視して考えられた新しいスポーツや、最新のテクノロジー等を活用して、様々な立場や状況を超えて楽しめるスポーツに挑戦してみることを通して、スポーツの楽しみ方の視野を広げ、自他にとつての運動・スポーツの価値等を考えたりする授業
- 外部の専門家や機関等と連携し、運動・スポーツ・健康・安全等について専門的知見等を踏まえて深掘りする取組 ③裁量的な時間
 イメージ：【小中高】 自治体の防災部局等と連携し、災害発生の仕組みや、災害発生に係る事前・直後・事後の対応の具体から、個人・社会の両面からの安全対策について理解を深め、人々が健康で安全に生活できる社会づくりに関する取組について多角的な検討を深め、交流する授業
- 実社会等との接続を意識した、体育・保健体育の学習をより探究的に深め交流し合う取組 ①既存教科等に乗せ
 イメージ：【中高】 知見を有するトレーナー等と連携し、生徒の運動・スポーツの実施について科学的にモニタリング。そのデータ分析に基づいて、よりよい運動・スポーツの実施等を目指すことを通して、感覚的な理解にとどまらない手法を用いることで運動・スポーツが充実することや、知見に基づいた取組によって安全面にも留意できること等を幅広く学び、運動・スポーツを支える視点も含めた学びを深める授業
- 地域の特色や地域の人材等を活かした取組 ①既存教科等に乗せ ③裁量的な時間
 イメージ：【小中高】 地域の自然環境を活かした屋外型の運動・スポーツに挑戦したり、運動・スポーツ施設の利用を通して、地域の自然や社会に関する環境を肌で感じながら、そうした資源と運動・スポーツ等の実施・発展に関わりがあること等を学び、運動・スポーツの捉え方の視野が一層広がる授業
 イメージ：【小中高】 地域の保健部局等と連携し、当該地域における健康課題のデータやそこから得られる特色等を踏まえ、地域における健康課題への対応等を考える授業
- 体育と保健との密接な関連をもたせた取組 ①既存教科等に乗せ
 イメージ：【小中高】 保健分野「心の健康」の学習で、ストレスへの対処法としてリラクゼーションの方法等を取り上げる際、体育分野「体づくり運動」の体ほぐしの運動で行った運動などを参考に自分に合った運動を実際に試しながら考えるなど、体育と保健との一層の関連を図る授業

留意が必要と考えられること

- 発展的な内容の取扱いに当たっては、当然ながら発展的な内容を取り扱うこと自体を目的とするのではなく、児童生徒の興味・関心や様々な状況を十分に踏まえつつ、児童生徒の一層豊かな活動機会を確保し、活動を通して学びが一層深まることに十分留意することが必要ではないか。その際、カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえ、他教科における学習内容との重複も含めた関わりにも留意が必要ではないか。
- こうした更なる学習の広がり・深まりを考える上では、教科の「見方・考え方」や関係する「高次の資質・能力」を検討に活かすことが有効ではないか。

2. 次期学習指導要領を活用した指導と評価のイメージ

2. 次期学習指導要領を活用した指導と評価のイメージ =「高次の資質・能力」等を活かした指導と評価の改善=

<イメージ2 (体育)> ボール運動 (仮称) ネット型：バレーボール (中学校1～2年生)

高次の資質・能力

【統合的な理解 (知・技)】

ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜び味わうことができることを理解する

運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する

(主な内容)「ネット型での攻防の仕方」

【総合的な発揮 (思・判・表)】

ゲームの特性等から、自他がボール運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する

運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方などを工夫する

(主な内容)「ネット型の攻防を通して課題を発見し合理的に解決できるように工夫する」



学習を始めよう



教師の視点

◆「高次の資質・能力」から、「ボール運動」の学習に関して、断片的な知識・技能の習得ことまらず、どのように課題をとらえながら学びが深まっていくのか、大きなイメージをつかみ、そのイメージをもとに、全ての生徒たちが取り組める環境づくりを考え、仕掛けを用意していく。

豊かなスポーツライフの実現にもつながる
実生活に生きる資質・能力の育成

基本的な知識や動きを習得しつつ、攻防を楽しむ中で学びが深まっていくことがポイントだな。安心して取り組めることが重要なので、柔らかいボールを用いて活動を展開してみようかな。

安心してゲームに参加する中で、少しずつできることが増えてきて楽しくなってきた。更にゲームが充実したらもっともっと楽しくなりそうだ。



学習活動

<全ての生徒が学習の媒介となる運動に参加する>

運動能力の差等に関わらず簡易なゲーム等を通して安心してバレーボールに取り組み、基本となる知識や技能を習得していく。

ネットの高さを変えてゲームしてみるのはいかがでしょうか？

作戦を選ぶためにはデータをとって話し合ったらどうかな？



基本的な操作で不安があるから練習方法を工夫したいな。



フェアプレーや安全面に気を配っている姿、素敵だね。仲間の良いところを見つけて積極的に声をかけよう。

作戦、戦術
ボール操作の行い方
アンダーハンドパス
定位置に戻る動き
空いた場所にボールを返す
公正、協力、共生、健康・安全 等

(知・技)

(イメージ)



みんなで更にゲームを楽しむためにはどうしたらいいかな？ゲームの特性はどんなところにあるかな？いろいろな視点から考えて挑戦してみよう。

学習活動

<ゲームを通して課題解決に向けて取り組む>

楽しくゲームに参加する中で、更にゲームが充実するために必要なこと等を考え、仲間と協働しながらその課題の解決に向けて試行錯誤する。そうしたプロセスの中で、知識・技能も更に深まっていく。

「高次の資質・能力」等を活かした単元計画づくりの参考イメージ（中学校体育分野）

中学校 体育分野 ボール運動（仮称） ネット型：バレーボール

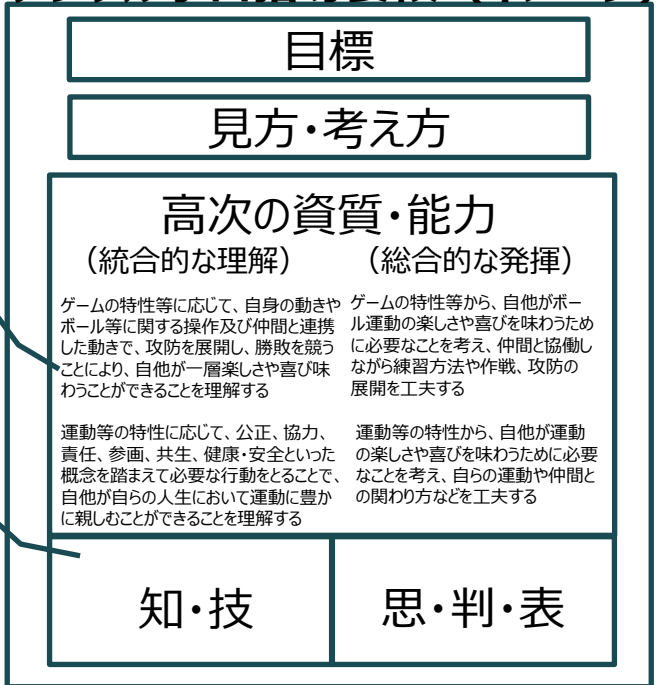


2学期に実施する第1学年のバレーボールの指導計画を考えよう。ボール操作の練習をたくさんすれば技能を身につけることはできるけど、それだけでは資質・能力をバランスよく育成することができないだろうな。そもそも、ボール運動の学習内容は本質的にどういった資質・能力を育てたいんだっけ？



まず、学習指導要領を確認してみよう。

デジタル学習指導要領（イメージ）



学習を終えた後に目指したい学習の深まりの姿を確認できる。

他教科や前後の学習内容も確認できる。デジタル学習指導要領では解説の記述や評価規準例も見られる。



なるほど、生徒が最終的に「高次の資質・能力」を身に付けられるように、学習内容を組み立てるのか。攻防を展開して、バレーボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにしたい。デジタル学習指導要領では、学習指導要領解説の記述も確認できるからヒントになるし、小学校や中3以降の学習内容なども確認しておけば系統的な指導につながりそうだ。



バレーボールは技術の差があり運動が苦手な生徒にとっては難しい種目という面があるから工夫が必要だな。「高次の資質・能力」を踏まえて、深い学びが実現できるようにイメージしながら単元計画を考えよう。



この単元では攻防を展開して、バレーボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにすることが重要だから、柔らかいボールを使用したりネットの高さを工夫したりゲームを簡易化したりして、運動が苦手な生徒も楽しさや喜びを味わうことができるようにしよう。

それに、簡易化したゲームだと学習課題を追求しやすいので、課題の解決に向けた学習過程を充実することができるようになるな。

技能ばかりに偏るのではなく、「運動との関わり方」も含めて知識もバランスよく理解できるようにすることが重要だな。行動の仕方などの具体的な知識だけでなく、行いう意義などの汎用的な知識も関連させて指導するようにしよう。それから、思・判・表の指導とも関連を図ることで、生徒の学びが深まることが期待できるな。

2時間目に簡易ゲームを通して課題を発見できる機会を確保しよう。そうすれば、その後の基本的なボール操作とラリー継続の練習の意味を理解することにもつながるな。

6時間目の簡易ゲームでフェアなプレイを守ることに指導しよう。

7時間目と8時間目では、簡易ゲームで確認した課題をグループで解決する活動を設定して、最後にリーグ戦を2時間確保すると授業時数は合計で10時間になるかな。



学習内容や学習の順番が決まったので、評価計画を立てるか。身につけさせたい資質・能力をきちんと見取れる評価になっているか確認しながら考えよう。



安全確保に関する知識はその後の学習活動にも関わる内容だから、単元の始めの2時間目で指導して学習カードの記述で見取ってみよう。

6時間目でフェアなプレイの知識を指導して、9時間目のリーグ戦で実現状況を観察で見取って評価しよう。

7時間目にフェアなプレイに関する思・判・表の指導と評価を行えば知・技の内容と関連を図ることができるな。

デジタル学習指導要領を使えば、評価規準例も一括で見られるのが便利だな！

「高次の資質・能力」等を活かした単元計画づくりの参考イメージ（中学校体育分野）

中学校 体育分野 ボール運動（仮称） ネット型：バレーボール

単元計画書のイメージ

1. 単元名：ボール運動 ネット型（バレーボール）

中学校第1学年

2. 教科の見方・考え方

学習指導要領の記述を転記する。

運動やスポーツを、心身の充実に果たす役割や多様な楽しみ方の視点から捉え、自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること。

3. 分野・区分の高次の資質・能力

学習指導要領の記述を転記する。

統合的な理解	総合的な発揮
ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜び味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他がボール運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する
運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する	運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方などを工夫する

4. 学びに向かう力・人間性等の「見取る姿（仮称）」

※ 今後検討

5. 単元の目標・評価規準

何を身に付けさせたいのかを明確にする

知識・技能	思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ボール運動には・・・ことについて言ったり書きたしたりしている。 相手コートの・・・に、・・・することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きのポイントやつまづき・・・を伝えている。 仲間と協力する場面で、・・・を見付けている。
⋮	⋮

6. 指導と評価の計画

授業内容、評価場面と評価方法を計画する。

時間	学習活動	観点	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション バレーボールの特性について 試しのゲーム 	知	・単元の目標や流れの確認
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ボール操作の練習① 安全確保の方法について 簡易ゲーム 	知	<ul style="list-style-type: none"> 用具の扱い方やネットの設置状態確認などの知識を指導する。 簡易ゲームを通して、自他の課題を発見できるようにする。
4	<ul style="list-style-type: none"> ボール操作の練習② 動画撮影による自己や仲間の課題発見 	知	・2時間目に知識として指導した「安全を確保すること」の実現状況を見取る。
5	<ul style="list-style-type: none"> ラリーを継続する練習 	知 思	・「空いた場所への攻撃を中心としたラリーの継続」という学習課題にせまるため、ネットの高さや用具を工夫したり、ゲームを簡易化したりして行う。
6	<ul style="list-style-type: none"> 簡易ゲーム フェアなプレイについて ゲームでの安全確保について 	知 思	・フェアなプレイを守ることに、関わり方の例や意義を指導する。また、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の関連を図って指導する。
7 8	<ul style="list-style-type: none"> 課題別練習 グループの課題に応じた練習 	知 思	
9	<ul style="list-style-type: none"> リーグ戦① 	知	・リーグ戦において、6時間目に知識として指導した「フェアなプレイを守ること」の実現状況を見取る。
10	<ul style="list-style-type: none"> リーグ戦② 単元のまとめ 		



このように、学習指導要領を基にして作成することができるだね。

參考資料

体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（ 暫 定 版 ）
※ 今後さらに検討

領域		A 体づくり運動系、体づくり運動		B 器械運動系、器械運動	
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 心と体の関係に気付いたり仲間と関わり合ったりすることにより、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の状態等に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具等を使い、回転したり、支持したり、逆位になったり、懸垂したりするなどの動きや技に挑戦し、各自の課題に応じた動きや技ができるようになることにより、楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具等を使う運動について、自己の課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動遊び・運動 多様な動きをつくる運動遊び・運動 体の動きを高める運動 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 心と体の状態等に応じて運動の課題や行い方を選ぶこと 誰もが気付きや関わり合いが深まる運動や、体の動きを高めるために適した運動の行い方を工夫したりすること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定施設を使った運動遊び マットを使った運動遊び・運動 鉄棒を使った運動遊び・運動 跳び箱を使った運動遊び・運動 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具等を使う運動について、自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを工夫する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じた技ができるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 動きの組み合わせ方や仲間との関わり合いなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動の基本的な技 鉄棒運動の基本的な技 平均台運動の基本的な技 跳び箱運動の基本的な技 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具等を使う運動について、技の行い方や技の組み合わせ方などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と主体的に関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、生涯にわたる健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図ることができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを合理的、計画的に工夫する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じて技が滑らかに安定してできるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を、合理的、計画的に工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の行い方や運動の実生活への取り入れ方の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動の基本的な技と発展技 鉄棒運動の基本的な技と発展技 平均台運動の基本的な技と発展技 跳び箱運動の基本的な技と発展技 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 器具等を使う運動について、技や演技、仲間との関わり方など課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること

体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（暫定版）
※今後さらに検討

領域		C 陸上運動系、陸上競技	D 水泳運動系、水泳
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 走ったり、バトンの受け渡しをしたり、リズムカルにハードルを走り越えたり、リズムカルな助走から踏み切って跳んだりして、記録に挑戦したり、相手と競争したりすることにより、一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 走・跳等に関する自己の課題の解決の仕方や競争・記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 走の運動遊び、跳の運動遊び かけっこ、短距離走・リレー 小型ハードル走・ハードル走 幅跳び・走り幅跳び 高跳び・走り高跳び 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 走・跳等に関する自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 走・跳に関する基本的な動きや効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 走・跳の特性等を踏まえ、自他が陸上運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら基本的な動きや効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 短距離走・リレー、長距離走、ハードル走 走り幅跳び、走り高跳び 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上運動に関する基本的な動きや効率的な動きなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 走・跳・投に関する合理的・効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 走・跳・投の特性等を踏まえ、自他が陸上競技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら合理的・効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を合理的、計画的な解決に向けて工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 短距離走・リレー、長距離走、ハードル走 走り幅跳び、走り高跳び 砲丸投げ、やり投げ 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技に関して、合理的・効率的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりすることにより、水の中での活動で一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の中での活動に関する自己の課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の中を移動する運動遊び もぐる・浮く運動遊び 浮いて進む運動、もぐる・浮く運動 クロール、平泳ぎ 安全確保につながる運動 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の中での活動に関する自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳法の特性等に応じて、効率的な泳ぎで、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳法の特性等から、自他が水泳運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> クロールや平泳ぎ等の泳法 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳法などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳法の特性等に応じて、効率的でバランスを保った泳ぎで続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳法の特性等から、自他が水泳の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を合理的、計画的な解決に向けて工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> クロールや平泳ぎ等の泳法 複数の泳法 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 各泳法の合理的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること

体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（ 暫 定 版 ）
※ 今 後 さ ら に 検 討

領域		E ボール運動系、球技		F 武道	
小学校	高次の資質・能力	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボールに関する操作及び仲間と連携したゲームを展開することにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> ゲームの特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と伝え合いながらルールや作戦、運動の取り組み方等を工夫する 		
	内容項目例	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ボールゲーム、鬼遊び ゴール型（ゲーム）、ネット型（ゲーム）、ベースボール型（ゲーム） 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> ゲーム等を行うにあたっての自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること 		
中学校	高次の資質・能力	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> ゲームの特性等から、自他がボール運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する 	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使う基本的な技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして簡易な攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や簡易な攻防の展開を工夫する
	内容項目例	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ゴール型での攻防 ネット型での攻防 ベースボール型での攻防 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> ボール操作やボールを持たないときの動きなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること 	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> 柔道の簡易な攻防 剣道の簡易な攻防 相撲の簡易な攻防 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 技の習得や簡易な攻防などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
高等学校	高次の資質・能力	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> ゲームの特性等に応じて、作戦や状況に応じた自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> ゲームの特性等から、自他が球技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する 	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使う得意技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する
	内容項目例	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ゴール型での攻防 ネット型での攻防 ベースボール型での攻防 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 攻防やボール操作、ボールを持たないときの動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること 	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> 柔道の攻防 剣道の攻防 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 技の習得や攻防、合理的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること

領域	G 表現運動系、ダンス		H 体育理論		
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入して踊ることにより、楽しさや喜びを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現やダンスの特性等に応じて、自己の課題の解決の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して表現に取り組むことができるような発表・交流の仕方を工夫する 		
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現遊び、リズム遊び 表現、リズムダンス フォークダンス 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現や交流を行うにあたっての自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること 		
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて仲間とともに踊ったり自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現やダンスの特性等から、表現運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら表現の方法や構成を工夫する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツの文化としての側面や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かなスポーツライフの実現のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作ダンス フォークダンス 現代的なリズムのダンス 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現や交流などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの多様性 運動やスポーツの効果と学び方 文化としてのスポーツの意義 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツへの多様な関わり方や文化としてのスポーツの意義などの課題を発見し、よりよい解決に向けて工夫すること
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを深めて自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスの特性等から、自他がダンスの楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら表現の方法や構成を合理的、計画的な解決に向けて工夫する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作ダンス フォークダンス 現代的なリズムのダンス 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現や交流、発表などの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 豊かなスポーツライフの設計の仕方 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代におけるスポーツの価値やスポーツライフの設計の仕方などの課題を発見し、持続可能な発展につながるよりよい解決に向けて工夫すること

領域		【全ての領域共通】運動との関わり方	
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が運動に豊かに親しむことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方などを工夫する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の行い方に関する共生等に関する課題の発見や解決
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方や安全の確保の仕方などを工夫し、生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動実践につながる公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する課題の発見や解決
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において他者とよりよく関わりながら運動に豊かに親しむことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方や安全の確保の仕方などを工夫し、生涯にわたる視野を踏まえ生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動実践につながる公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する課題の発見や解決

保健「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（暫定版）
※今後さらに検討

領域		健康な生活、健康な生活と現代社会		心の健康、心の健康と対策	
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の状態には、生活の仕方や生活空間の環境が関わっており、毎日を健康に過ごすためには、生活の仕方や生活環境を整えることが必要であることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活の仕方を考え、身近な生活に適用する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 心は発達すること、心と体は密接な関係があること等の特徴を踏まえ、不安や悩みに対処することで、心の健康を保つことができることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 心をよりよく発達させたり、不安や悩みに対処する方法を考え、身近な生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活 1日の生活の仕方 身の回りの環境 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活に関わる課題を見付けること 生活の仕方や生活環境を整えるための方法を考えること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の発達 心と体との密接な関係 不安や悩みへの対処 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の健康に関わる課題の発見 よりよい心の発達や心と体の関わりについて考えること 不安や悩みへの対処方法を考えること
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の状態には、個人の生活行動や社会環境が関わっており、人が健康に過ごすためには、生活行動を整えたり、より良い社会環境を目指すことが必要であることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を保持増進する方法を見だし、自他の生活に適用する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神と身体は互いに影響し合うこと等の特徴を踏まえ、欲求やストレスに適切に対処することで、心の健康を保持増進できることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神機能を発達させたり、欲求やストレスへの適切な対処法を考え、自他の生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の成り立ち 生活習慣と健康 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活に関する自他の課題の発見 生活の質を高める方法を見いだすこと 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神機能の発達と自己形成 欲求やストレスへの心身への影響 ストレスへの対処 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他の心の健康に関わる課題の発見 心の健康を保持増進する方法を見いだすこと ストレスへの適切な対処の方法を考えること
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康は、個人の生活行動と社会環境等の相互作用の下に成立しており、現代社会における健康課題に対応するためには、こうした相互作用を踏まえた行動選択が必要であることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を保持増進するための個人や社会の取組の意義を見だし、社会生活に適用する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の疾病概念やその対処方法など心の健康を維持したり回復したりするために必要なことを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の健康を維持・回復するために必要な個人の取組や社会的な対策について考え、社会生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民の健康課題 健康の考え方 様々な保健活動や社会的対策 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康に関わる自他や社会の課題の発見 生活の質の向上に向けた課題解決の方法を整理し、それらを表現すること 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の特徴 精神疾患への対処 心の健康を維持・回復するための方法や対策 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他や社会の心の健康に関わる課題の発見 心の健康に関する課題を解決する方法を考えること

保健「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（暫定版）
※今後さらに検討

領域		けが・傷害の防止、安全な社会生活		病気・疾病の予防、疾病の予防と対策	
小学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> けがは、人の行動や生活環境が関わって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法について身に付けることで、けがの防止につながることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険の予測や回避の方法を考え、身近な生活に適用する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な病気の要因を踏まえた予防方法をとることで、その予防につながることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の原因や予防の原則から、病気の予防方法を考え、身近な生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの発生の原因 けがの発生の防止 けがの手当て 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの防止に関わる課題を見付けること 危険予測、回避方法 けがの悪化を防ぐ手当ての方法 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の疾病概念と予防方法 感染症の疾病概念と予防方法 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の予防に関わる課題を見付けること 病気を予防する適切な方法を見いだすこと
中学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷害は、人の行動や生活環境及びそれらの相互によって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法を身に付けることで、傷害の防止につながることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険の予測や回避の方法を多面的に考え、自他の生活に適用する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の要因を踏まえた予防方法をとることで、既存の病気に加え、未知の疾病の予防にも活用できることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病概念や予防の原則を拡張し、疾病の予防方法を考え、自他の生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷害の発生要因 傷害の発生の防止 応急手当 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷害の防止に関する自他の課題の発見 危険予測、回避方法 傷害の悪化の防止方法 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病やがんの疾病概念と予防・回復の方法 感染症の疾病概念と予防・回復の方法 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の予防に関する自他の課題の発見 疾病等にかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだすこと
高等学校	高次の資質・能力	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故の要因や予防の考え方について身に付け、社会的な対策を講じることで、安全な社会の形成につなげられることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を考え、社会生活に適用する 	<p>統合的な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の特徴を踏まえた社会的な対策を講じることで、生涯の各段階の疾病の予防につながることを理解する 	<p>総合的な発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の概念や予防の原則を拡張し、疾病の特徴や生涯の各段階に応じた予防や回復の方法、社会的な対策を選択し、社会生活に適用する
	内容項目例	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故の発生要因 安全な社会の形成に必要なこと 速やかで適切な応急手当 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会生活に関わる課題の発見 自他や社会の危険予測、回避方法 傷害の悪化の防止方法 	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症の疾病概念と予防方法 生活習慣病やがんの疾病概念と予防と回復の方法 	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の予防に関する自他や社会の課題の発見 疾病の特徴に応じてリスクを軽減し健康を保持増進するための個人の取組や社会的な対策を考えること 生涯の各段階に応じた課題解決

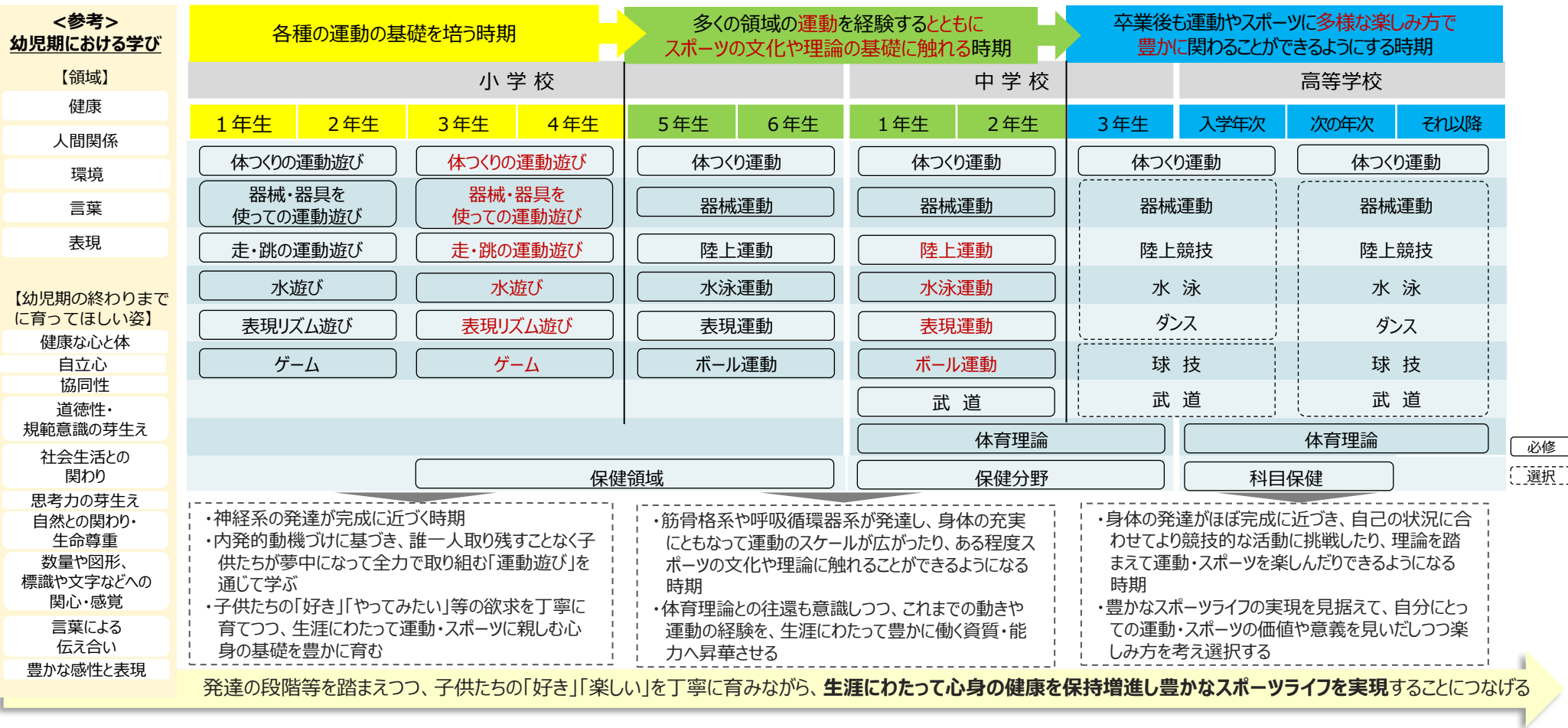
保健「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（暫定版）
※今後さらに検討

領域		体の発育・発達、身体機能の発達、生涯を通じる健康		健康と環境、健康を支える環境づくり	
小学校	高次の資質・能力	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 思春期の体の変化を踏まえた適切な生活の仕方を身に付けることで、体をよりよく成長させられることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 体をよりよく発育・発達させる方法について考え、身近な生活に適用する 		
	内容項目例	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> 体の発育・発達 思春期の体の変化 体をよりよく発育・発達させるための生活 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 体の発育・発達に関わる事象から課題を見付けること 体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方を考えること 		
中学校	高次の資質・能力	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 身体機能の発達を踏まえた適切な生活行動について身に付けることで、よりよい成長や行動選択ができるようになることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 身体機能の発達や適切な生活行動について考え、自他の生活に適用する 	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 衛生等の環境が、人の健康の保持増進に関連があることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 健康と環境に関わる概念や原則を生活環境から社会に関わる環境まで拡張し、健康を保持増進する方法を考え、自他の生活に適用する
	内容項目例	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> 身体機能の発達 生殖に関わる機能の成熟 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 身体機能発達に関する自他の課題の発見 発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を見いだすこと 	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> 身体的环境に対する適応能力・至適範囲 飲料水や空気の衛生的管理 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 健康を守る社会の取組 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 健康と環境に関する自他の課題の発見 健康と環境に関わる課題や情報を整理して、健康を保持増進する方法を見いだすこと
高等学校	高次の資質・能力	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 生涯の各段階の健康課題を踏まえた健康管理や環境づくりを行うことで、生涯を通じた健康の保持増進や回復につながることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じる健康について考え、社会生活に適用する 	統合的な理解 <ul style="list-style-type: none"> 健康を支える環境づくりが、自他の健康の保持増進に関連があることを理解する 	総合的な発揮 <ul style="list-style-type: none"> 健康と環境に関わる概念や原則を健康を支える環境づくりまで拡張し、全ての人が健康に生きていくための環境について考え、社会生活に適用する
	内容項目例	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> 生涯の各段階における健康 労働と環境 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 生涯の各段階における自他や社会の課題の発見 生涯の各段階に応じて健康を保持増進するための個人の取組や社会的な対策を考えること 生涯の各段階に応じた課題解決 	知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションの考え方 環境・食品と健康 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 様々な保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加 	思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 健康を支える環境づくりに関する自他や社会の課題の発見 健康を支える環境づくりについて、個人の取組や社会的な対策を考えること

体育運動領域等の学習の系統性（イメージ）

（暫定版）
※今後さらに検討



必修
選択

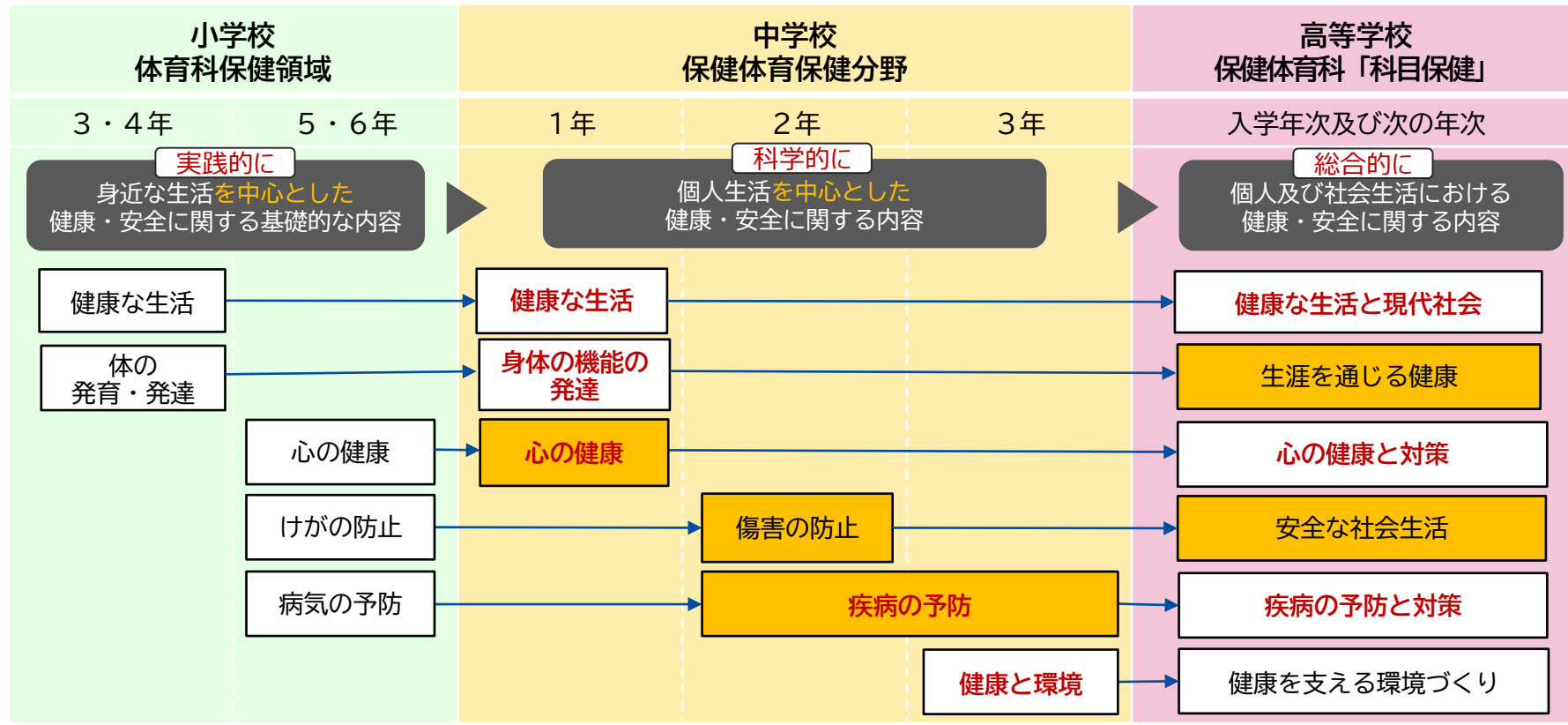
<参考>
幼児期における学び

【領域】

- 健康
- 人間関係
- 環境
- 言葉
- 表現

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現



※ 高等学校は各学校において取り扱う順序を設定する
 ※ 具体的な内容等は追って検討する